

第1版

弘前大学医学部附属病院
メディカルスタッフ教育研修センター
研修プログラム



『弘大病院の総合力を高める教育研修センター』

弘前大学病院医学部附属病院長

大 山 力



令和元年10月に本院の看護師、薬剤師、技師、栄養管理士などのメディカルスタッフの教育・研修を総合的・横断的に実施するための、メディカルスタッフ教育研修センターが設置されました。このセンターは、看護師、薬剤師、医療技術部職員等の専門性、国際性の向上及び臨床現場への定着、復帰支援のための教育・研修体制を充実させることを目的としています。

言うまでもなく、本院は青森県唯一の特定機能病院として、高度で良質な医療を地域の皆様に提供するという大切な役割を持っています。その役割を果たすには、いくら医師が頑張っても限界があります。良質な医療を提供していくには、高度に組織化され多職種から構成される医療チームが、良好なチームワークのもとに活動を継続していくことが重要です。メディカルスタッフの質を高め、一時的な休職に際しても円滑な職場復帰を支援する部門がないと本院の総合力は充実しないという発想から本センターが設立されました。

本院の医療職員に係る教育・研修体制のうち、医師については、卒後臨床研修センターが中心となり臨床研修制度に沿った体制を整えています。また、看護師については看護部内の看護職教育キャリア支援センターに専従職員を配置して対応しています。一方、薬剤師や医療技術部職員等については、それぞれの部署部門において技術的教育や職種専門的な研修の受入を行ってはいますが、個々の教育・研修体制は十分ではありませんでした。また、本院では多職種により業務を遂行していますが、全職員を対象とした多種多様で継続的な教育・研修体制は構築されていない現状でありました。以上を踏まえ、当センターは医師を除く医療系職員の教育体制や研修プログラムを統括するとともに、病院全職員に対する意識啓発やスキルアップに貢献していきます。

この研修プログラムは、当センターの概要を皆様に紹介するために作成しました。当センターを皆様のスキルアップ、ブラッシュアップ、グローバル化、職場復帰のためのツールとして使いこなして頂き、皆様の力で弘大病院の総合力を高めて頂きたいと思えます。



◇CONTENTS◇

| | |
|---------------------------|------|
| 病院長挨拶 | P 1 |
| CONTENTS | P 2 |
| 病院案内 | P 3 |
| 弘前大学病院メディカルスタッフ教育研修センター概要 | P 4 |
| 【看護部】看護部教育研修プログラム | P 5 |
| 【看護部】新人看護職員育成プログラム | P 6 |
| 【看護部】HiroCoナースプラン | P 7 |
| 【看護部】指導者育成プログラム | P 8 |
| 【看護部】がん看護実践者育成プログラム | P 9 |
| 【薬剤部】新人薬剤師研修プログラム | P 10 |
| 【薬剤部】多職種研修プログラム | P 11 |
| 【薬剤部】認定・専門・指導薬剤師研修プログラム | P 12 |
| 【薬剤部】病院薬剤師研修プログラム | P 13 |
| 【検査部門】検査部研修プログラム | P 14 |
| 【検査部門】採血従事者向け採血マニュアル研修 | P 15 |
| 【検査部門】検査部時間外業務研修プログラム | P 16 |
| 【輸血部】輸血部業務研修プログラム | P 17 |
| 【病理部】病理部業務研修プログラム | P 18 |
| 【放射線部門】放射線部門新人研修プログラム | P 19 |
| 【放射線部門】放射線部門危険予知トレーニング | P 20 |
| 【臨床工学部門】臨床工学部研修プログラム | P 21 |
| 【リハビリテーション部門】理学療法士研修プログラム | P 22 |
| 【リハビリテーション部門】作業療法士研修プログラム | P 23 |
| 【リハビリテーション部門】言語聴覚士研修プログラム | P 24 |
| 【栄養管理部】TNT-D 研修 | P 25 |
| 【栄養管理部】NST臨床研修 | P 26 |
| 【栄養管理部】NST（栄養サポートチーム）勉強会 | P 27 |
| 【栄養管理部】栄養療法実践プログラム | P 28 |

○病院案内

弘前大学医学部附属病院の特徴

本院は青森県唯一の特定機能病院として、高度の医療の提供、技術の開発及び医療従事者の教育・研修を実施しております。青森県全域のみならず北秋田、南北海道も含めた広域の最後の砦として、地域の中核的役割を果たしております。

診療科

消化器内科、血液内科、膠原病内科、循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科、内分泌内科、糖尿病代謝内科、感染症科、脳神経内科、腫瘍内科、神経科精神科、小児科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線治療科、放射線診断科、産科婦人科、麻酔科、脳神経外科、形成外科、小児外科、歯科口腔外科、病理診断科、救急科、リハビリテーション科

医師数

402名（令和2年4月1日現在）

メディカルスタッフ数

923名（令和2年4月1日現在）

病床数

644床（令和2年4月1日現在）

一般病棟 597床

精神病床 41床

感染症病床 6床

患者数（令和元年度）

入院患者数 190,178人
（1日平均） 519.6人

外来患者数 386,170人
（1日平均） 1609.0人



外来診療棟待合ホール

○弘前大学病院メディカルスタッフ教育研修センター概要

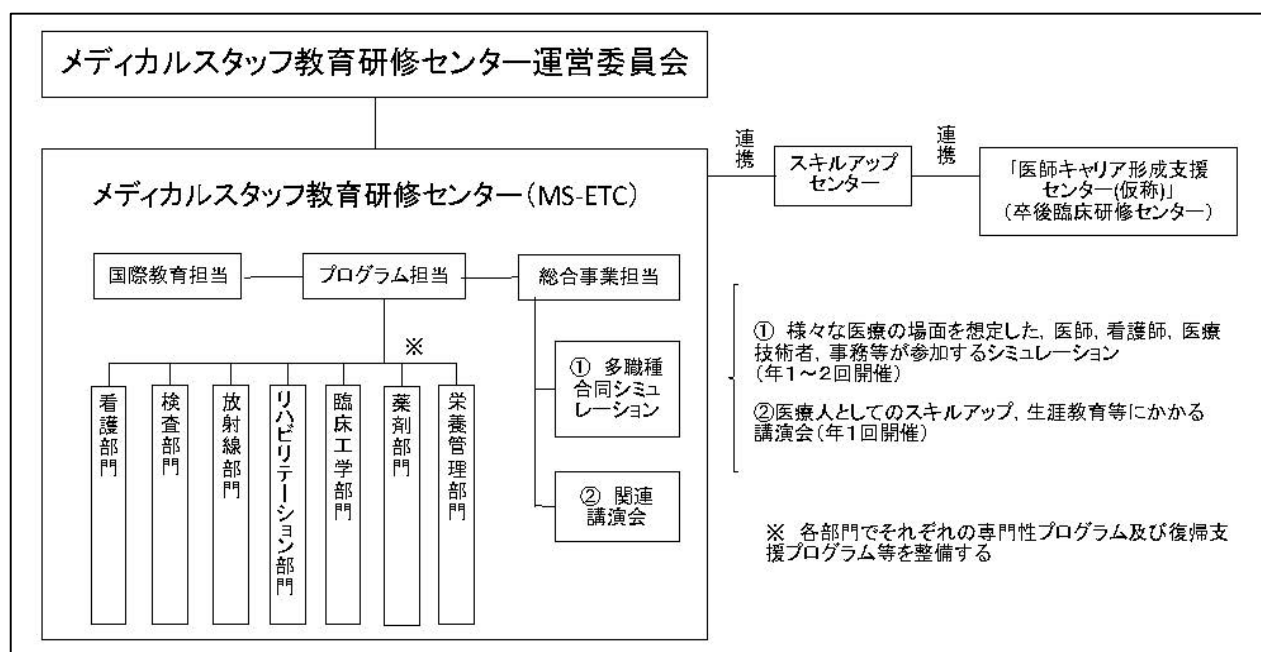
本センターは、1) 国際教育担当、2) プログラム担当、3) 総合事業担当の3つの部門に別れ活動していきます。

1) 国際教育担当部門は、メディカルスタッフの国際性向上に向けた国際化研修会や海外プログラムへの派遣、外国人患者に対応するための多言語ツール導入等に関する事業を実施します。

2) プログラム担当部門は各部署で作成・管理している研修プログラムの整備や、新たな専門資格取得に向けたプログラム作成支援等の事業を実施します。

3) 総合事業担当部門は、メディカルスタッフの教育、スキルアップ、職場復帰支援等に資する院内研修会や医療系シミュレーションの企画・立案等の事業を実施します。

組織図



看護部

責任者 看護部長 小林 朱実

副責任者 副看護部長 木村 美佳

プログラム名

看護部教育研修プログラム

目的・特徴

「人間性と専門性豊かな看護職を育成する」ことを教育方針とし、看護実践能力および教育力の育成に力を入れ、確かな知識と安全・安心な技術、そして高い倫理性を育成することを目的としています。クリニカルラダーのレベル別教育プログラムを実施しています。

さらに、国立大学病院に求められているがん看護や災害看護、国際化に対応できるようなコミュニケーション能力の育成にも力を入れています。

一人ひとりが自分の目標を持ち、継続的に学習しながら、看護職として成長し、質の高い看護を提供できることを目指します。

概要

「看護実践」「自己育成」「教育」「研究」「管理」の5つの領域を枠組みとして、段階的・系統的に学習できるよう教育計画を構成しています。

サバシヤルティへの展望

新人から一人前（HiroCoナース）、中堅となり、その後目指すキャリアに沿ってスペシャリストコース、ジェネラリストコース、看護管理者コースがあります。更なるキャリアアップとして大学院への進学や認定看護師、専門看護師を目指す人には支援制度があります。

その他の取組

専門性を高めるための研修として、次の研修があります。

- ◆がん看護実践者育成研修
- ◆災害支援ナース育成研修

対象

職種：看護師

経験年数：クリニカルラダーレベルⅠ～Ⅳ

※他部門職員の受入は要相談。

問い合わせ

看護部 木村 美佳（副看護部長）

TEL：0172-39-6872 Mail：kn6872@hirosaki-u.ac.jp

HP：http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/nurse/

看護部

責任者 看護部長 小林 朱実

副責任者 副看護部長 木村 美佳

プログラム名

新人看護職員育成プログラム

目的・特徴

看護専門職としての知識に加え、社会人としての基盤を1年間で育成していきます。基礎教育で習得した看護実践能力を基盤として、看護の専門職としての基本的な知識・技術・態度を養い、チームの中で看護を安全に提供する実践能力を強化するための教育です。

アクティブラーニングを取り入れた集合教育および部署における分散教育、自己学習等を組み合わせで行います。

概要

◆基本的な看護技術研修

e-ラーニングの事前学習、講義、演習、リフレクションで学習内容を振り返り行動ができるように言語化しながら進めます。また、様々なシミュレータを活用し、基本的看護技術の習得のため、先輩看護師が指導者として見守ります。

◆看護技術シミュレーショントレーニング

日常遭遇する患者さんの状況を取り上げたシミュレーション教育で、基本的看護技術の確認をします。

サブスペシャリティへの展望

該当なし

その他の取組

該当なし

対象

職種：看護師

経験年数：1年目

※他部門職員の受入は要相談。

問い合わせ

看護部 木村 美佳（副看護部長）

TEL：0172-39-6872 Mail：kn6872@hirosaki-u.ac.jp

HP：http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/nurse/

看護部

責任者 看護部長 小林 朱実

副責任者 副看護部長 木村 美佳

プログラム名

HiroCoナースプラン

目的・特徴

臨床看護の基盤を作るため、看護学生から新人そして一人前の看護職員になるためのシームレスな教育システム「HiroCo (Hirosaki Competent)ナース育成プラン」を弘前大学大学院保健学研究科と協同で構築し、看護実践力および教育力の育成・向上を図ることを目的としています。新人から2年目、3年目と、HiroCoナースを目指した経年別研修プログラムです。

2年目は、部署特有の看護技術を確実に身に付け、看護過程を展開し、患者ケアを実践・評価できること、また患者の人権について考え自分自身の課題を見つけます。

3年目は、アセスメント能力を高め、適切な看護診断ができること、また看護実践を振り返り問題解決として看護研究に取り組みます。

*HiroCoナースとは、「3年程度の臨床経験を積み、高い倫理性を持ち、対象者の健康と生活を支えることのできる一人前の看護師」です。

概要

講義と演習を組み合わせて行います。

- ◆ 診療の補助業務技術研修（検査について・静脈注射）
- ◆ 看護実践の技術研修（看護形態機能学を活用したヘルスアセスメント）
- ◆ 看護過程研修（事例検討）
- ◆ 看護倫理研修
- ◆ 看護過程研修（クリティカルシンキングと看護診断）
- ◆ 看護研究研修（エビデンスリサーチ）

サブ・キャリアへの展望

該当なし

その他の取組

該当なし

対象

職種：看護師

経験年数：クリニカルグレードレベルⅠ以上

※他部門職員の受入は要相談。

問い合わせ

看護部 木村 美佳（副看護部長）

TEL：0172-39-6872 Mail：kn6872@hirosaki-u.ac.jp

HP：http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/nurse/

看護部

責任者 看護部長 小林 朱実

副責任者 副看護部長 木村 美佳

プログラム名

指導者育成プログラム

目的・特徴

大学病院に求められている指導者としての役割を理解し、後輩を指導できる能力を習得することを目的としています。

看護実践力を備えた一人前の看護師が指導力を身に付けることで、指導者になるよう育成します。

弘前大学大学院保健学研究科と協同して、[HiroCoナース]を育てるために、指導者として求められる姿勢・態度、周りの環境づくりなどについて話し合い、具体的に絵に描くことで理解を深めていきます。

さらに、ロールプレイングを通して相手を尊重し、必要なことを伝えるコミュニケーションスキルや指導方法について理解を深めます。

概要

講義と演習を組み合わせて行います。

- ◆指導者の態度・姿勢
- ◆コミュニケーションスキル
- ◆看護技術の指導方法

サブスペシャリティへの展望

該当なし

その他の取組

該当なし

対象

職種：看護師

経験年数：クリニカルグレードレベルII以上

※他部門職員の受入は要相談。

問い合わせ

看護部 木村 美佳（副看護部長）

TEL：0172-39-6872 Mail：kn6872@hirosaki-u.ac.jp

HP：http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/nurse/

看護部

責任者 看護部長 小林 朱実

副責任者 副看護部長 木村 美佳

プログラム名

がん看護実践者育成プログラム

目的・特徴

がん診療連携拠点病院に勤務する中堅看護師が求められる役割を認識し、根拠に基づいてがん患者とその家族の看護問題を明確にできることを目的としています。基礎編からステップ編へ、がん看護を系統的に学んでいくことができます。認定看護師や薬剤師、管理栄養士が講師を担当し、各専門性を活かした充実した講義内容になっています。

概要

基礎編6回，ステップアップ編5回，計11回開催されます。

基礎編は講義が主となります。ステップアップ編は，演習や施設見学，事例検討も含まれます。

卒業生への展望

該当なし

その他の取組

該当なし

対象

職種：看護師

経験年数：臨床レベルⅡ以上

※他部門職員の受入は要相談。

問い合わせ

看護部 木村 美佳（副看護部長）

TEL：0172-39-6872 Mail：kn6872@hirosaki-u.ac.jp

HP：http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/nurse/

薬剤部

責任者 薬剤部長 新岡 文典

副責任者 副薬剤部長 金澤 佐知子

プログラム名

新人薬剤師研修プログラム

目的・特徴

本院薬剤部で当直業務を遂行することを目的としたプログラムです。正職員としての採用を希望する薬剤師には必ず受講していただきます。

概要

次の3つの研修を受講します。

「①内服・外用調剤部門研修」「②注射調剤部門研修」「③外来化学療法部門研修」

各部署において4~6カ月間勤務し、終了時に各部署の主任が評価を行います。知識およびスキルが十分と判断されれば、最終確認試験（筆記）を行い、合格すれば、翌日より日当直ローテーションに組み込まれます。本院以外の病院や保険調剤薬局での勤務経験を有する薬剤師に対しては、その勤務年数に応じ、研修期間を適宜短縮することを考慮します（面談あり）。

サブスペシャリティへの展望

該当なし

その他の取組

特記すべき事項なし

対象

職 種：薬剤師

経験年数：1年目および新規採用者

※他部門職員の受入は要相談。

問い合わせ

薬剤部 金澤 佐知子（副薬剤部長）

TEL：0172-39-5301 Mail：skana@hirosaki-u.ac.jp

HP：https://www.med.hirosaki-u.ac.jp/

hospital/clindtl/c26yakuzai.html

薬剤部

責任者 薬剤部長 新岡 文典

副責任者 副薬剤部長 金澤 佐知子

プログラム名

多職種研修プログラム

目的・特徴

医薬品の適正使用・適正管理，医療安全に資する知識を習得することを目的としたプログラムです。ハイリスク薬（休薬期間の設けられている医薬品や服薬期間の管理が必要な医薬品，併用禁忌や多くの薬剤との相互作用に注意を要する医薬品など）の安全使用，麻薬・向精神薬・毒薬の適正使用，名称や外観が類似・複数規格が存在する医薬品の誤認対策に重点をおいた研修となります。

概要

次の6つの研修を受講します。

「①医薬品の管理」「②医薬品に関する基礎知識」「③糖尿病治療薬について」
「④抗凝固薬について」「⑤がん化学療法について」「⑥医療用麻薬について」
各研修は講義形式（eラーニングも可能）で実施されます。研修の用途に応じ，選択可能です。

サブスペシャリティへの展望

該当なし

その他の取組

本研修の一部は，毎年開催される院内医療安全講習としても実施されます。

対象

職 種：全職員
経験年数：入職後概ね3年未満

問い合わせ

薬剤部 金澤 佐知子（副薬剤部長）

TEL：0172-39-5301 Mail：skana@hirosaki-u.ac.jp

HP：https://www.med.hirosaki-u.ac.jp/

hospital/clindtl/c26yakuzai.html

薬剤部

責任者 薬剤部長 新岡 文典

副責任者 副薬剤部長 金澤 佐知子

プログラム名

認定・専門・指導薬剤師研修プログラム

目的・特徴

医療系の学会が認定する薬学関連資格を取得することを目的したプログラムです。チーム医療に主体的に参加し、適正な薬物療法を支援できる知識やスキルを有した、臨床現場で実践力を発揮できる薬剤師を養成します。

概要

認定制度毎に研修期間が異なります（本院に勤務している薬剤師は、勤務年数が下記の研修施設在籍期間として認められます）。がん領域の認定プログラムにおいては、外来化学療法室での実務研修が中心となります。最上位の指導薬剤師資格取得のために必要な、学会・論文発表も支援します。

サポータビリティへの展望

本院は次の認定施設の指定を受けています。

「日本医療薬学会地域薬学ケア専門薬剤師研修施設」「日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設」
「日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師研修施設」「日本医療薬学会認定薬剤師制度研修施設」「日本臨床薬理学会認定薬剤師制度研修施設」「日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修事業研修施設」「日本薬剤師研修センター研修生受入施設」

その他の取組

「かかりつけ薬剤師・薬局機能」や「高度薬学管理機能」に対応できる、専門性が高い薬剤師を育成するため、保険調剤薬局からの薬剤師研修も受け入れます。

対象

職種：薬剤師

経験年数：3～5年

（各認定制度により異なる）

※他部門職員の受入はなし

問い合わせ

薬剤部 金澤 佐知子（副薬剤部長）

TEL：0172-39-5301 Mail：skana@hirosaki-u.ac.jp

HP：https://www.med.hirosaki-u.ac.jp/

hospital/clindtl/c26yakuzai.html

薬剤部

責任者 薬剤部長 新岡 文典

副責任者 副薬剤部長 金澤 佐知子

プログラム名

病院薬剤師研修プログラム

目的・特徴

病院薬剤師の業務概要を把握することを目的としたプログラムです。産休や育休など、退職後の職場復帰支援も本プログラムの目的の一つです。

概要

次の4つの研修を受講します。

「①内服・外用（麻薬を含む）調剤業務研修」 「②注射調剤業務研修」

「③抗がん剤・TPN調製業務研修」 「④病棟薬剤業務・DI業務研修」

各プログラムは、講義（e-ラーニングも可）0.5日、実習4日、確認テスト0.5日の1週間構成となっており、原則計4週間受講していただきます。病院や保険調剤薬局での勤務経験を有する薬剤師に対しては、その勤務年数に応じ、研修期間を適宜短縮することを考慮します（面談あり）。

サブスペシャリティへの展望

該当なし

その他の取組

特記すべき事項なし

対象

職 種：薬剤師

経験年数：問わない

※他部門職員の受入は要相談。

問い合わせ

薬剤部 金澤 佐知子（副薬剤部長）

TEL：0172-39-5301 Mail：skana@hirosaki-u.ac.jp

HP：https://www.med.hirosaki-u.ac.jp/

hospital/clindtl/c26yakuzai.html

検査部門

責任者

技師長 石山 雅大

副責任者

副技師長 蔦谷 昭司・木村 正彦

プログラム名

検査部研修プログラム

目的・特徴

検査部での業務概要を把握してもらうことを目的とし、LIS(臨床検査情報システム)や検査機器の取り扱い、検査時の感染防御、ラボデータの判読など基本的な内容についての習得を目指します。

概要

検査部の各部門(一般、血液、生化学、生理、感染制御)での研修と実技指導を行います。

「LISの操作方法」「各部門での研修」「精度管理」「感染防御マニュアル」

「ISO15189に則した業務指導」

サブスペシャリティへの展望

該当なし

その他の取組

各種認定技師取得を目指す方に、希望に沿うようサポートします。

対象

職種：臨床検査技師

経験年数：問わない

※他部門職員の受入は要相談。

問い合わせ

検査部門 石山 雅大 (技師長)

TEL : 0172-39-5382 Mail : mas-ishiyama@hirosaki-u.ac.jp

HP : [http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/](http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/clindtl/c02kensa.html)

[clindtl/c02kensa.html](http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/clindtl/c02kensa.html)

検査部門

責任者

技師長 石山 雅大

副責任者

主任技師 佐藤 めぐみ

プログラム名

採血従事者向け採血マニュアル研修

目的・特徴

本院での採血業務での標準採血法や感染防御の基礎的な知識と技術の習得を目的に策定したプログラムです。

概要

日本臨床検査協議会(JCCLS)の標準採血法ガイドラインに則った内容で、検査部での感染防御マニュアルに従い履修します。

なお、次の検査部採血室主任の講義の受講及び実技指導を行います。

「標準採血法ガイドライン」「各種採血管について」「感染防御マニュアル」

サブスペシャリティへの展望

該当なし

その他の取組

該当なし

対象

職種：臨床検査技師・看護師

経験年数：問わない

※他部門職員の受入は要相談。

問い合わせ

検査部門 石山 雅大（技師長）

TEL：0172-39-5382 Mail：mas-ishiyama@hirosaki-u.ac.jp

HP：http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/

clindtl/c02kensa.html

検査部門

責任者 技師長 石山 雅大

副責任者 副技師長 蔦谷 昭司・木村 正彦

プログラム名

検査部時間外業務研修プログラム

目的・特徴

時間外における検査部業務の習得を目的とした研修プログラムです。検査技師として検査部・輸血部に配属された方を対象に実施します。

概要

時間外検査項目に該当する業務内容を、各検査室の定めたマニュアルと習得すべき項目のチェックリストに則して研修します。チェックリストの項目に該当する検査室の主任が評価し、問題なければ修了となります。研修を実施する検査室は生化学・血液・一般・細菌・生理・輸血です。

サブスペシャリティへの展望

該当なし

その他の取組

該当なし

対象

職種：臨床検査技師（検査部・輸血部）

経験年数：問わない

※他部門職員の受入は要相談。

問い合わせ

検査部門 石山 雅大（技師長）

TEL：0172-39-5382 Mail：mas-ishiyama@hirosaki-u.ac.jp

HP：http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/

clindtl/c02kensa.html

輸血部

責任者 技師長 石山 雅大

副責任者 主任技師 金子 なつき

プログラム名

輸血部業務研修プログラム

目的・特徴

輸血部での業務概要を把握することを目的としたプログラムです。

概要

輸血部で運用している業務マニュアルに則して研修を実施します。なお、主に次の4つの業務研修を1週間ローテーションで実施します（教育担当者と一緒に業務に従事します）。

「自動機器」「特殊検査（用手法で実施する追加検査など）」

「交差適合試験」「受付」

なお、輸血検査の経験年数に応じて、研修期間の短縮などもあります。

サブスペシャリティへの展望

該当なし

その他の取組

認定輸血技師の資格取得を目指す方にはサポートします。

対象

職種：臨床検査技師（輸血部）

経験年数：問わない

※他部門職員の受入は要相談。

問い合わせ

輸血部 金子 なつき（主任臨床検査技師）

TEL：0172-39-5321 Mail：n-kaneko@hirosaki-u.ac.jp

HP：http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/

clindtl/c05yuketubu.html

病理部

責任者 技師長 石山 雅大

副責任者 主任技師 熊谷 直哉

プログラム名

病理部業務研修プログラム

目的・特徴

病理部で行っている業務の概要を理解することを目的としたプログラムです。

概要

病理部での業務に使用している標準作業手順書に沿った形での研修・講義を行います。主任の評価が問題なければ研修修了となります。

また、病理部に配属され、細胞検査士免許の取得を目指す方は、業務を行いながら取得できるよう指導・サポートいたします。

なお、病理検査の経験年数に応じて、研修期間の短縮などもあります。

サブスペシャリティへの展望

細胞検査士免許

その他の取組

該当なし

対象

職種：臨床検査技師（病理部）

経験年数：問わない

※他部門職員の受入は要相談。

問い合わせ

病理部 熊谷 直哉（主任臨床検査技師）

TEL：0172-39-7191 Mail：kuma-70@hirosaki-u.ac.jp

HP：http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/
clindtl/byorisindanka-byoribu.html

放射線部門

責任者

技師長 成田 将崇

副責任者

副技師長 大谷 雄彦・駒井 史雄・大湯 和彦

プログラム名

放射線部門新人研修プログラム

目的・特徴

新人研修用のプログラムで、各部署の具体的な業務内容を記したクラウド型のシステムです。

概要

新人職員に対して半年に1度業務内容をどの程度把握できているかを確認し、「標準スキル・モラルクラウド」を利用して習熟度をチェックしております。点数化された内容から十分ではない知識等を本人が確認できます。

サブスキルへの展望

該当なし

その他の取組

該当なし

対象

職種：診療放射線技師

経験年数：1年目

※他部門職員の受入は要相談。

問い合わせ

放射線部門 成田 将崇（技師長）

TEL：0172-39-5312 Mail：hobu5380@hirosaki-u.ac.jp

HP：http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/

clindtl/c03hosyasenbu.html

放射線部門

責任者

技師長 成田 将崇

副責任者

副技師長 大谷 雄彦・駒井 史雄・大湯 和彦

プログラム名

放射線部門危険予知トレーニング

目的・特徴

患者の急変時対応や機器操作に起因する装置の破損など、各部署で予想されるトラブルを事前に把握する力を養うことを目的としております。

概要

放射線部各部署に対応した危険予知トレーニングの動画研修を行います。

サブスペシャリティへの展望

該当なし

その他の取組

該当なし

対象

職種：診療放射線技師

経験年数：問わない

※他部門職員の受入は要相談。

問い合わせ

放射線部門 成田 将崇（技師長）

TEL：0172-39-5312 Mail：hobu5380@hirosaki-u.ac.jp

HP：http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/

clindtl/c03hosyasenbu.html

臨床工学部門

責任者

技士長 後藤 武

副責任者

主任技士 小笠原 順子

プログラム名

臨床工学部研修プログラム

目的・特徴

臨床工学技士としての主な業務を網羅し、各業務に関連した臨床研究も積極的に行っています。全分野を経験してもらうために3~4年間で3か月毎のローテーションで業務に携わり、まずはゼネラリストを目指します。その後、4~5年目に興味のある分野のスペシャリストを目指すことが可能です。

概要

○ 1年次目標

臨床支援業務として夜間・休日も多く関わる集中治療・救命救急領域の業務を遂行できることを目指します。

○ 2年次目標

ゼネラリストを目指し、より多くの業務に携わって頂き広い分野の知識取得を目指します。

○ 3年次目標

より高度な技術と知識を求められる業務に携わり、知識を深めます。

○ 医療機器、基礎編研修動画を用いた研修を行います。

人工心肺、補助循環(ECMO, IABP), 人工呼吸器, 血液浄化装置, 除細動器・体外式ペースメーカー, 閉鎖式保育器

サブスペシャリティへの展望

体外循環認定士, 呼吸療法認定士, 認定血液浄化臨床工学技士, 不整脈治療専門臨床工学技士などの各種認定資格の取得を目指すことも可能です。

その他の取組

勤務をしながら大学院へ通い, 修士(理工学)や博士(医学)などが取得可能です(要相談)。

対象

職種: 臨床工学技士

経験年数: 問わない

※他部門職員の受入は要相談。

問い合わせ

臨床工学部門 後藤 武 (技士長)

TEL : 0172-39-5456 Mail : me-goto@hirosaki-u.ac.jp

HP : <http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/>

[clindtl/c17mecenter.html](http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/clindtl/c17mecenter.html)

リハビリテーション部門

責任者 療法士長 塚本 利昭

副責任者 主任理学療法士 瓜田 一貴

プログラム名

理学療法士研修プログラム

目的・特徴

理学療法の業務概要を把握し、標準的理学療法を実践できるようにすることを目的とします。

概要

各疾患における専門的な知識の向上を目指し、運動器疾患・脳血管疾患・がん・内部疾患（呼吸器・心大血管）・ロボットリハビリテーション・小児など多種多様の疾患に対応できる能力を身につけます。また、ベッドサイドでの患者および環境把握・リハビリテーション室でのトランスファーなどリスク管理に関する知識、技術を身につけます。教育方針は、OJT（on the job training）で治療前後での振り返りを行い、必要に応じて各セラピストの治療見学などを行います。

【研修プログラム】

- ・ベッドサイドで行える筋力トレーニングとトランスファー
- ・可動域練習とトランスファー
- ・看守り中の転倒予防について
- ・看守り中の転倒予防について-インシデント事例から看守方法を学ぼう

サスペンシティへの展望

疾患・病態の理解と専門性を高め、各団体の認定・専門への基礎研究を行います。呼吸療法認定士、心臓リハビリテーション指導士など、各種認定資格取得を目指すことも可能です。

その他の取組

当部門にて臨床実習を行う学生への指導、および研修を希望する社会人を受け入れております。

対象

職種：理学療法士・メディカルスタッフ
経験年数：問わない
※他部門職員の受入は要相談。

問い合わせ

リハビリテーション部門 塚本 利昭（療法士長）
TEL：0172-39-4444 Mail：tukamoto@hirosaki-u.ac.jp
HP：http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/
clindtl/c11rihabiri.html

リハビリテーション部門

責任者

療法士長 塚本 利昭

副責任者

主任作業療法士 西村 信哉

プログラム名

作業療法士研修プログラム

目的・特徴

主に臨床現場での活動に重点を置いたプログラムであり、新卒者や既卒者でも急性期病院に勤務経験のない方が対象です。5領域に分け、それぞれの疾患の特徴や作業療法の内容を理解することが目的です。

概要

整形外科疾患、脳血管疾患、神経・筋疾患、がん、内部疾患の5領域に分類し、概ね1年程度で各疾患に対する理解を深めます。教育方針はOJT（on the job training）を中心に実施し、治療開始時や治療後に振り返りを行い、必要時には上司の患者治療を見学します。

【研修プログラム】

- ・手のリハビリテーション
- ・屈筋腱・伸筋腱リハビリテーション

サブスペシャリティへの展望

各疾患・病態の理解と専門性を高め、各団体の認定・専門への基礎研究を行います。

その他の取組

当部門にて臨床実習を行う学生への指導、および研修を希望する社会人を受け入れております。

対象

職種：作業療法士
経験年数：問わない
※他部門職員の受入は要相談。

問い合わせ

リハビリテーション部門 塚本 利昭（療法士長）
TEL：0172-39-4444 Mail：tukamoto@hirosaki-u.ac.jp
HP：http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/
clindtl/c11rihabiri.html

リハビリテーション部門

責任者

療法士長 塚本 利昭

副責任者

言語聴覚士 中山 佐織

プログラム名

言語聴覚士研修プログラム

目的・特徴

言語聴覚士の業務概要を把握してもらうことを目的に策定されたプログラムです。また、病院リハビリテーション部門に就職を考えている方や職場復帰をしたい方などへの支援の一つでもあります。

概要

嚥下障害・失語症・構音障害・高次脳機能障害・コミュニケーション障害・言語発達遅滞・音声障害に対する理解を深めます。教育方針は、OJT（on the job training）を中心に実施し、治療開始時や治療後に振り返りを行い、必要時には患者治療を見学します。

【研修プログラム】

- ・摂食嚥下機能評価・訓練
- ・言語機能評価・訓練
- ・小児摂食嚥下機能評価・訓練
- ・小児言語機能評価・訓練

サスペンシティへの展望

各疾患・病態の理解と専門性を高め、各団体の認定・専門への基礎研究を行います。

その他の取組

当部門にて臨床実習を行う学生への指導、および研修を希望する社会人を受け入れております。

対象

職種：言語聴覚士
経験年数：問わない
※他部門職員の受入は要相談。

問い合わせ

リハビリテーション部門 塚本 利昭（療法士長）
TEL：0172-39-4444 Mail：tukamoto@hirosaki-u.ac.jp
HP：<http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/clindtl/c11rihabiri.html>

栄養管理部

責任者

管理栄養士長 三上 恵理

副責任者

主任管理栄養士 嶋崎 真樹子

プログラム名

TNT-D(Total Nutrition Therapy for Dietitian・静脈経腸栄養)研修

目的・特徴

経腸栄養管理や静脈栄養管理を含めた総合的な栄養管理の実践力を付けることを目的としています。チーム医療のなかで、管理栄養士が多職種とどのようにかかわっているか体験できます。

概要

本院は日本栄養士会の認定教育施設です。

2日間の研修です。(週1回を2回)症例の栄養アセスメント, 栄養サポート計画, モニタリングをとおして, 経腸栄養管理や静脈栄養管理を含めた総合的な栄養管理の実践力を付けます。NSTの活動に参加します。病院等で栄養管理を行っていることが条件です。

サスペンディビリティへの展望

静脈経腸栄養(TNT-D)管理栄養士の認定が得られます。

その他の取組

該当なし

対象

職種：管理栄養士
経験年数：2年以上

問い合わせ

栄養管理部 三上 恵理 (管理栄養士長)

TEL：0172-39-5220 Mail：emikami@hirosaki-u.ac.jp

HP：<http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/clindtl/c23ei yokanri.html>

栄養管理部

責任者 管理栄養士長 三上 恵理

副責任者 管理栄養士 横山 麻実

プログラム名

NST（Nutrition Support Team・栄養サポートチーム）臨床研修

目的・特徴

臨床においてより良い栄養管理を行うために、栄養管理の基本を習得し、安全で的確な栄養管理の実践を多職種と連携して実践することを目的としています。また、本研修は、厚生労働省NST加算研修でもあります。

概要

本院は日本病態栄養学会認定の教育施設です。

次の研修を1回3時間、全10回（週1回10週間）を受講します。

（イ）栄養障害例の抽出・早期対応（スクリーニング法）（ロ）栄養薬剤・栄養剤・食品の選択・適正使用法の指導（ハ）経静脈栄養剤の側管投与法・薬剤配合変化の指摘（ニ）経静脈輸液適正調剤法の取得（ホ）経静脈栄養のプランニングとモニタリング（ヘ）経腸栄養剤の衛生管理・適正調剤法の指導（ト）経腸栄養・経口栄養のプランニングとモニタリング（チ）簡易懸濁法の実施と有用性の理解（リ）栄養療法に関する合併症の予防・発症時の対応（ヌ）栄養療法に関する問題点・リスクの抽出（ル）栄養管理についての患者・家族への説明・指導（ヲ）在宅栄養・院外施設での栄養管理法の指導

なお、受講時間数は、資格取得に応じて短縮することも可能です（要相談）。

サブスペシャリティへの展望

病態栄養専門（または認定）管理栄養士の資格があれば、NSTコーディネーターの認定が得られます。

その他の取組

該当なし

対象

職種：管理栄養士・薬剤師・看護師

経験年数：問わない

※他部門職員の受入は要相談。

問い合わせ

栄養管理部 三上 恵理（管理栄養士長）

TEL：0172-39-5220 Mail：emikami@hirosaki-u.ac.jp

HP：[http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/](http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/clindtl/c23ei yokanri.html)

[clindtl/c23ei yokanri.html](http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/clindtl/c23ei yokanri.html)

栄養管理部

責任者

管理栄養士長 三上 恵理

副責任者

管理栄養士 横山 麻実

プログラム名

NST（Nutrition Support Team・栄養サポートチーム）勉強会

目的・特徴

栄養療法について院内の医療スタッフに知ってもらい、臨床に活かすことが目的です。

概要

栄養アセスメント、病態別の栄養療法、嚥下食、栄養補助食品、NST介入症例などについて、院内外の講師が講演します。

サブスペシャリティへの展望

該当なし

その他の取組

該当なし

対象

職種：全医療スタッフ
経験年数：問わない

問い合わせ

栄養管理部 三上 恵理（管理栄養士長）

TEL：0172-39-5220 Mail：emikami@hirosaki-u.ac.jp

HP：<http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/>

[clindtl/c23ei yokanri.html](http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/clindtl/c23ei yokanri.html)

栄養管理部

責任者

管理栄養士長 三上 恵理

副責任者

主任管理栄養士 嶋崎 真樹子

プログラム名

栄養療法実践プログラム

目的・特徴

栄養療法を実践するにあたり、適応、栄養計画、オーダー方法、使用方法、手技、症例等を知ってもらい、臨床に活かすことが目的です。また、試飲・試食を通して、食事や栄養補助食品の選択、患者さんへの説明・アドバイスに役立てることが可能です。

概要

「栄養管理部の役割と業務」，「がん患者と栄養」，「栄養剤について」，「嚥下食について」，「食欲不振時の食事対応」などについて研修します。病態によって栄養療法が異なるため、病棟や診療科あるいは職種ごとに対応します。

なお、研修内容は、必要に応じて対応します。

サブスペシャリティへの展望

該当なし

その他の取組

該当なし

対象

職種：全医療スタッフ
経験年数：問わない

問い合わせ

栄養管理部 三上 恵理（管理栄養士長）

TEL：0172-39-5220 Mail：emikami@hirosaki-u.ac.jp

HP：<http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/clindtl/c23ei yokanri.html>

センター長挨拶

良質なチーム医療を実践していくためには、全病院職員を対象とした多種多様で継続的な教育・研修体制の構築が必要不可欠となります。また、働き方改革の視点から、各職種が本来の業務に集中できるためのタスクシフト・タスクシェアを推進し、能動的に業務に対応できる仕組みを整えることが重要となります。これらの背景を踏まえ、令和元年10月1日、当院にメディカルスタッフ教育研修センターが設置されました。

本センターは、看護部、薬剤部、医療技術部、栄養管理部の教育体制や研修プログラム等を統括し、医療人の専門性、国際性の向上、および、臨床現場への定着、復帰支援に係る教育・研修体制を充実させることを目的としています。診療活動のみならず、教育活動においても、多職種で連携を図りながら、メディカルスタッフの意識啓発やスキルアップに資する事業展開に努めていきたいと考えております。皆様の更なるご理解とご支援を賜りたくお願い申し上げます。

メディカルスタッフ教育研修センター長 新岡 丈典

センター運営委員

- 委員長 ◎新岡 丈典（薬剤部長・本センター長）
副委員長 ○塚本 利昭（リハビリテーション部門技師長・本副センター長）
○木村 美佳（副看護部長・本副センター長）
委員 石山 雅大（臨床検査部門技師長）
成田 将崇（放射線部門技師長）
後藤 武（臨床工学部門技士長）
金澤 佐知子（副薬剤部長）
三上 恵理（管理栄養士長）
富澤 登志子（大学院保健学研究科教授）
中野 公雄（総務課長）

〒036-8563 青森県弘前市本町53番地

T E L : 0172-32-33-5111（代表）

F A X : 0172-39-5189

M a i l : jm6760@hirosaki-u.ac.jp

H P : <https://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/index.html>

弘前大学医学部附属病院メディカルスタッフ教育研修センター研修プログラム
【お問い合わせ先】

〒036-8563 青森県弘前市本町53番地

弘前大学医学部附属病院メディカルスタッフ教育研修センター

T E L : 0172-32-33-5111 (代表)

F A X : 0172-39-5189

M a i l : jm6760@hirosaki-u.ac.jp

H P : <https://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/index.html>

